

「二次的自然を主な生息環境とする純淡水魚保全  
のための提言」作成に向けた平成 27 年度事例調査の実施について

## 1. 実施方針

- 提言の参考資料として掲載する予定の「保全活動がもたらす地域社会にとっての利点の例」については、下記 2 (1) ~ (5) の観点から、昨年度の検討会において報告された事例の一部と、特色があると考えられる新たな事例を対象として事例調査を行う。
- なお、下記 2 において【現地調査】と記載のあるものについては、現地調査を実施する。情報収集の過程で他のより良い事例があった場合は、参考資料への掲載を検討。

## 2. 本年度の事例調査の実施計画

### (1) 地域社会の再認識・誇りの回復

- 多自然川づくりの実施に伴う純淡水魚の生息環境保全の例
- 農業農村整備事業における環境配慮や環境保全型農業の実施に伴う純淡水魚の生息環境保全の例
- 重要文化的景観の保全に伴う純淡水魚の生息環境保全の例

### (2) 地域外との交流、地域社会の結びつきの強化

- 三重県松阪市朝見地区住民による純淡水魚の保全を契機とした地域外の人々との交流、地域社会の結びつき強化の例【現地調査】
- ニッポンバラタナゴ高安研究会（大阪府八尾市）による地域住民、近隣住民等多様な主体の参画により純淡水魚の保全活動が行われている例

### (3) 農産物等の高付加価値化

- 農事組合法人門崎ファーム（岩手県一関市）による門崎メダカ米と純淡水魚の保全の例
- シナイモツゴの郷の会（宮城県大崎市）によるシナイモツゴ郷の米と純淡水魚の保全の例

### (4) 自然資源の持続的利用による経済的効果

- 三方湖（福井県）や琵琶湖（滋賀県）において、自然資源に経済的価値を与え、その活用が自律的に行われることにより、純淡水魚保全が図られる事例【現地調査】

### (5) 民間主導による取組

- 企業の CSR 活動等として、事業用地内において純淡水魚を保全する例（カワバタモロコ、ウシモツゴ、ホトケドジョウ等、5 事例程度）